MA1409-A © 2014 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

3227＊JA

取扱説明書

3227

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

■本機の特長

●LEDライト

暗いところでもボタン1つで表示を明るく照らします。

●データバンク

最大30件の名前&電話番号を記憶します。

- 設定した言語で名前部に文字を入力することができます（13カ国語対応）。

●アラーム（5本）・時報

設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴る通常アラームと、5分おきに合計7回報音を繰り返すスヌーズアラーム＊があります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすことができます。
＊スヌーズアラームには1本のみ切り替え可能。

●ストップウオッチ

1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。

●タイマー

1分単位で24時間までセットでき、1秒単位で減算計測を行います。

●デュアルタイム

現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻を表示できます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⃠ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠ 警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース･バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース･バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、ノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

安全上のご注意 表紙裏面

液晶表示について 6

ライト点灯について 6

言語の設定について 7
- 言語の設定 …… 7

操作のしくみと表示の見方 8

データバンクの使い方 10
- データのサーチ …… 10
- データを入力する …… 10
- データの修正 …… 12
- データの消去 …… 12

アラーム・時報の使い方 13
- アラームの使い方 …… 13
- 時報の使い方 …… 16

ストップウオッチの使い方 17
- 計測のしかた …… 17

タイマーの使い方 18
- タイマー時間のセット …… 18
- 計測のしかた（減算計測のしかた） …… 19

デュアルタイムの使い方 20
- デュアルタイムのセット …… 20
- サマータイム（DST）について …… 21

時刻・日付の合わせ方 22
- 時刻・日付のセット …… 22

参考 24
- 曜日の見方 …… 24
- 文字リスト …… 25
- 自動ソートの順番 …… 27

- 製品仕様 …… 28
- ご使用上の注意 …… 30
- お手入れについて …… 33
- 電池交換について …… 34
- 金属バンドの駒詰めについて …… 34

液晶表示について

製品により液晶表示のタイプが異なります。

- １つの製品でタイプを切り替えることはできません。

白地に黒



黒地に白

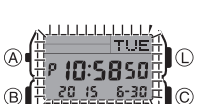


本書は「白地に黒」のタイプのイラストで説明します。

ライト点灯について

どのモードのときでも Ⓛボタンを押すと、ライトが約1.5秒間、点灯します。

➠暗いところでも表示を見ることができます。



▮ご注意▮

- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に Ⓛボタン以外のボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。

言語の設定について

以下の操作は、時刻モードで行います。

本機のデータバンクは、設定している言語で名前部に文字を入力することができます（13カ国語対応）。
また、時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。

- 工場出荷時および電池交換後は、「ENG（英語）」に設定されています。他の言語に変更したい場合は、以下の方法で設定しなおしてください。

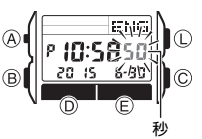
■ 言語の設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約２秒間押し続けます

➡「秒」が点滅します。



2. 「言語設定」にする

Ⓑボタンを３回押します

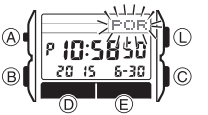
➡「言語コード」が点滅して、言語設定の表示になります（右図）。

- Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が移動します（22 ページ参照）。



3. 言語を選ぶ

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓔボタンを押すごとに「言語コード」が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓔ・Ⓓボタンとも、押し続けると早送りができます。

コード	言語	コード	言語
ENG	英語	ITA	イタリア語
POR	ポルトガル語	SVE	スウェーデン語
ESP	スペイン語	POL	ポーランド語
FRA	フランス語	ROM	ルーマニア語
NED	オランダ語	TÜR	トルコ語
DAN	デンマーク語	РУС	ロシア語
DEU	ドイツ語		

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

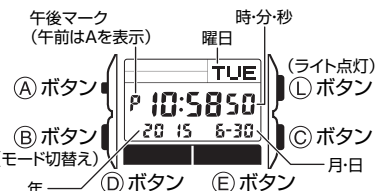
➡点滅が止まります。

- 点滅表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓑボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
- 各モードで Ⓛボタン以外のボタンを押した後に Ⓑボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。
- データバンクモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード

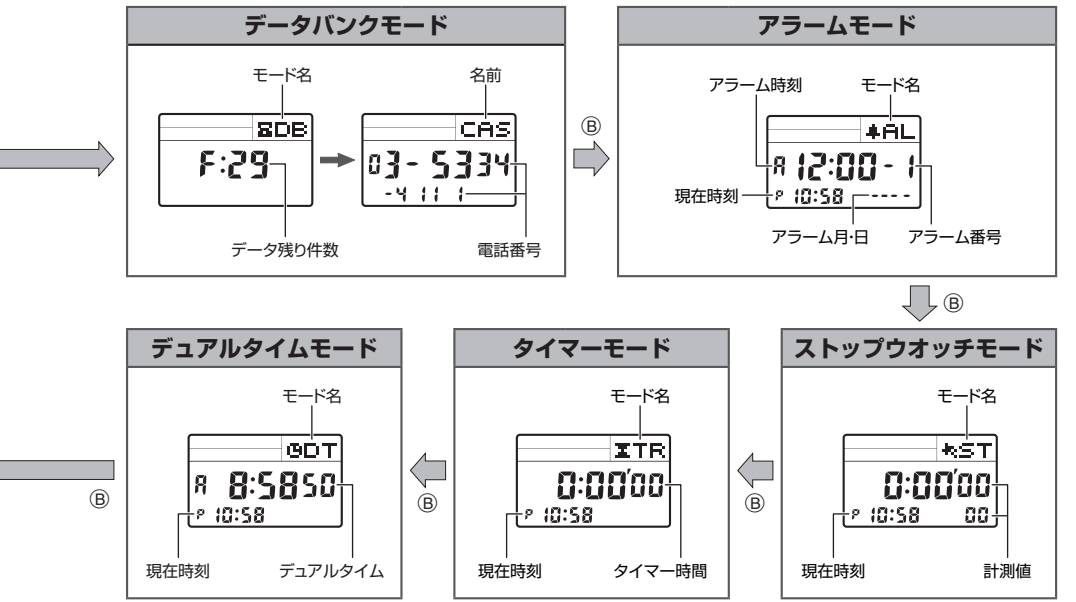


Ⓓボタンを押している間、デュアルタイムを表示します。

Ⓔボタンを押している間、データバンクモードで最後に見たデータを表示します。

★ 12/24時間制表示切替えについて
時刻モードのとき、Ⓒボタンを押すごとに12時間制表示（午前は **A** ／午後は **P** を表示）と24時間制表示とが切り替わります。

★ 曜日の表示について
時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。
* 曜日の見方については24ページ参照。


データバンクモード
モード名
名前
F:29
03-5334
データ残り件数
電話番号
Ⓑ
アラームモード
アラーム時刻
モード名
現在時刻
10:58
アラーム月·日
アラーム番号
Ⓑ
ストップウオッチモード
モード名
0:00'00
10:58
00
現在時刻
計測値
Ⓑ
タイマーモード
モード名
0:00'00
10:58
現在時刻
タイマー時間
Ⓑ
デュアルタイムモード
モード名
8:5850
10:58
現在時刻
デュアルタイム
Ⓑ

データバンクの使い方

Ⓑボタンを押して、データバンクモードにします。

データバンクモードでは、名前（8文字）と電話番号（15桁）のデータを最大30件記憶できます。

- データバンクモードに切り替えると、データ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。
- データを入力すると名前順に並び替わりますので、データを探すときも大変便利です（自動ソート）。

* 自動ソートの順番については27ページ参照。

■ データのサーチ

データバンクモードのとき、

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓔボタンを押すごとにページが進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓔ・Ⓓボタンとも、押し続けると早送りができます。
- 名前が4文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に“◀”マークがつきます）。
- データ入力をしたページと空きページを表示します。なお、データを1件も入力していないときは、空きページのみ表示します。

■ データを入力する

本機のデータバンクは、設定している言語で名前部に文字を入力することができます（13カ国語対応）。

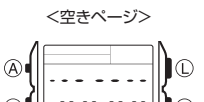
* 言語の設定については7ページ参照。

1. 空きページを選ぶ

データバンクモードのとき、

Ⓒ ボタンを押します

<空きページ>



➡空きページが表示されます。

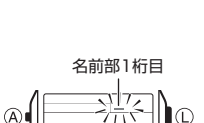
- データがすでに30件記憶されているときは、不要なデータを消去してください。

* データの消去については12ページ参照。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

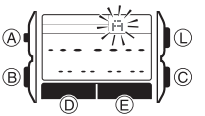
名前部1桁目



➡名前部の1桁目が点滅します。

3. 点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します

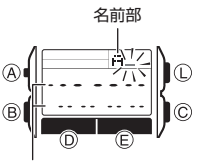


➡Ⓔボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓔ·Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

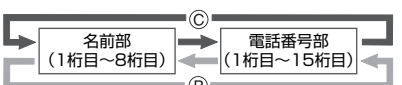
4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動します。

- Ⓑ ボタンを押すと戻ります。
- Ⓒ または Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。
- Ⓒ · Ⓑ ボタンとも、押し続けると点滅箇所が早く移動します。



3. ～ 4. の操作を繰り返して、データを入力します。

- 名前は最大 8 文字まで入力できます。
  * 名前部に入力できる文字については25ページ参照。
- 電話番号は最大 15 桁まで入力できます。電話番号部に入力できる文字は－、0 ～ 9、[ ]、(空白) です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まります。

- 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。
- 続けて他のデータを入力したいときは、***1.*** ～ ***5.*** の操作を繰り返し行います。

■ データの修正

1. 修正したいデータを選ぶ

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➟名前部の 1 桁目が点滅します。

3. 修正箇所を選ぶ

Ⓒ または Ⓑボタンを押します

➟修正したい箇所を点滅させます。

4. データを修正する

Ⓔ または Ⓓボタンを押します

➟正しい文字（数字）を表示させます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まります。

- 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。

■ データの消去

1. 消去したいデータを選ぶ

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➟名前部の 1 桁目が点滅します。

3. データを消去する

Ⓒ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

➟“CLR”表示後、データが 1 件消去されます。

- データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まります。

- 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方

Ⓑボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームの使い方

●アラームについて

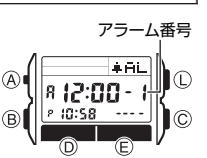
●通常アラーム
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。
●スヌーズアラーム（アラーム 1 のみ切り替え可能）
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

●アラーム時刻のセット

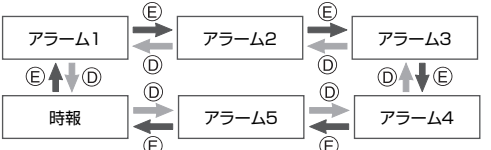
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します

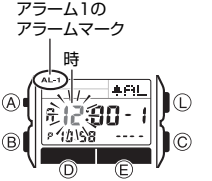


➡Ⓔ または Ⓓボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

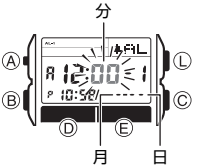


➡「時」が点滅します。

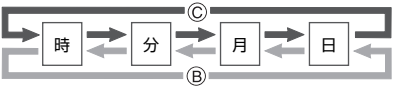
- 該当のアラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。
- アラーム 1 は、スヌーズアラーム ON のときにセット操作を行うと、スヌーズ機能は OFF になります。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓒ または Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します



（戻る）（進む）

➡Ⓔボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓔ·Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- 「月」をセットしないときは“－”を、「日」をセットしないときは“－－”を表示させます。

3. ～ 4. の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

- 「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
- 基本時刻を 24 時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。
- 「時・分」に加えて、「月」や「日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らす ➡「時・分」のみセット
指定月に毎日鳴らす ➡「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らす ➡「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らす ➡「月・日・時・分」すべてセット

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まります。

- 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。

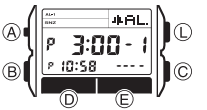
●アラームのON／OFF設定

★アラーム1(通常アラーム／スヌーズアラーム)

準備：アラームモードのとき、Ⓔ または Ⓓ ボタンを押して、アラーム 1 を選びます。

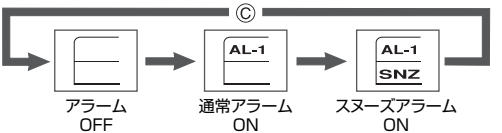
Ⓒ ボタンを押します

<アラーム1表示>



➡Ⓒ ボタンを押すごとにアラームのON／OFFが以下の順で切り替わります。

- アラーム 1 のアラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。
- スヌーズアラーム ONのときは "**SNZ**" も点灯します。



- アラーム 1 は、アラーム時刻のセット状態にすると、" 通常アラーム ON" になります。

★アラーム2 ～アラーム5(通常アラーム)

準備：アラームモードのとき、Ⓔ または Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓒ ボタンを押します

<アラーム2表示>



アラーム2の
アラームマーク

➡Ⓒ ボタンを押すごとにアラームのON／OFFが切り替わります。

- 該当のアラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。

<アラームマークの見方>



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

- スヌーズアラームのときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
- スヌーズアラーム機能中に以下の操作を行うと、点滅が止まり、スヌーズアラームが終了します。
  - スヌーズアラームをOFF、または通常アラームに切り替えたとき
  - スヌーズアラームをアラーム時刻セット状態にしたとき
  - 時刻モードでセット状態にしたとき
- 基本時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1回のみ報音を行います。

●アラーム音を確認するには（モニターアラーム）

アラームモードのとき、Ⓒボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■時報の使い方

●時報について

毎正時（00分）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

●時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓔ または Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓒ ボタンを押します

<時報表示>



➡Ⓒ ボタンを押すごとに時報のON／OFFが切り替わります。

- 時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

Ⓑボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

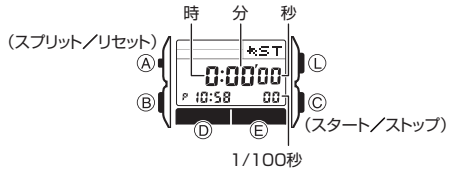
ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測ストップ後 Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

★計測中に他のモードに切り替えても、内部では計測を継続します。

●通常計測

Ⓒ スタート → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

<積算計測>
ストップ後リセットせずに Ⓒボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

計測中に Ⓐボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります(“**SPL**”が点灯)。

Ⓒ スタート → Ⓐ スプリット計測 → Ⓐ スプリット解除 → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

- スプリット計測中に、他のモードに切り替えた後にストップウオッチモードに戻ったときは、スプリットタイム表示は解除されています。

●1・2着同時計測

Ⓒ スタート → Ⓐ 1着ゴール(1着タイム表示) → Ⓒ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

タイマーの使い方

Ⓑボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

■ タイマー時間のセット

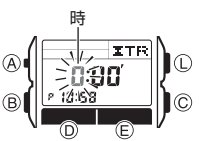
準備：タイマー計測中の場合は、Ⓒ ボタンを押して計測を停止してから Ⓐ ボタンを押して計測時間をリセットします。
タイマー計測がストップしている場合は、Ⓐ ボタンを押して計測時間をリセットします。

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

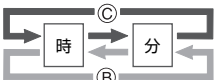
➡「時」が点滅します。

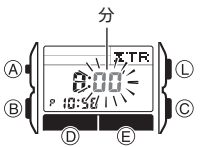


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓒ または Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。

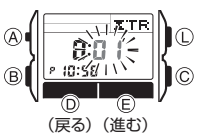




3. 点滅箇所をセットする

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓔボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。



（戻る）（進む）

- Ⓔ·Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

2.～**3.** の操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。

- 1 分単位で 24 時間までセットできます。
- 24 時間に設定するときは、表示を“0：00′”にします。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➠点滅が止まります。

- 点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

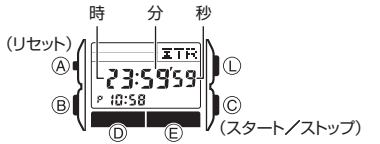
■ 計測のしかた（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、

Ⓒ ボタンを押します

➠Ⓒ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

- 計測は 1 秒単位で行います。



★ 計測ストップ後 Ⓐボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ Ⓒボタンでストップ後もう一度 Ⓒボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップをお知らせます。

●鳴っている電子音を止めるには

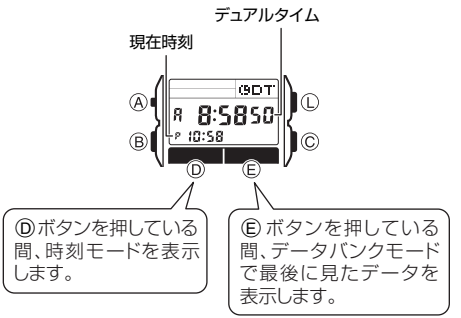
いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

デュアルタイムの使い方

Ⓑボタンを押して、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻を表示できる機能です。

- デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」と連動しています。
- 基本時刻を24時間制表示にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。



■ デュアルタイムのセット

1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき、

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

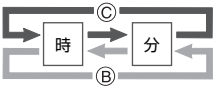
➠「時」が点滅します。

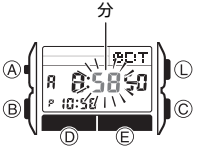


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ または Ⓑ ボタンを押します

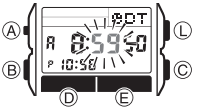
➠Ⓒ または Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





3. 点滅箇所をセットする

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します



➠Ⓔボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓔ·Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

2. ～ 3. の操作を繰り返して、デュアルタイムを合わせます。

- 「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24 時間制にご注意ください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➠点滅が止まります。

- 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。

■ サマータイム（DST）について

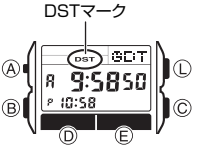
サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。

- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

★サマータイムの設定

デュアルタイムモードのとき、Ⓒボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

- サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。



時刻・日付の合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行います。

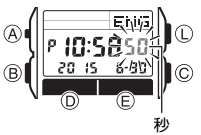
■時刻・日付のセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡「秒」が点滅します。



2. 「秒」合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓔ ボタンを押します

➡「00 秒」からスタートします。

- 秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。

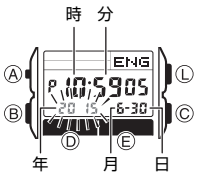


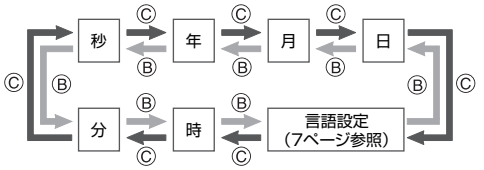
3. 「時刻・日付」合わせ

a. 点滅箇所を選ぶ

Ⓒ または Ⓑ ボタンを押します

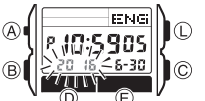
➡Ⓒ または Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





b. 点滅箇所をセットする

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します



（戻る）（進む）

➡Ⓔボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓔ・Ⓓボタンとも、押し続けると早送りができます。

a. ～ ***b.*** の操作を繰り返して、「時刻・日付」を合わせます。

- 「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
- 「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。
- 「曜日」は自動的に設定されますので、「年」は正しくセットしてください。
- カレンダーはうるう年、大の月および小の月を判別するフルオートカレンダーです。
- 時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。

* 曜日の見方については24ページ参照。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まります。

- 点滅表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

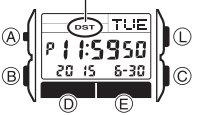
★サマータイム切替えについて

時刻モードのとき、Ⓒボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

- サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

* サマータイムについては21ページ参照。

DSTマーク



参考

■曜日の見方

時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
ENG（英語）	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
POR（ポルトガル語）	DOM	SEG	TER	QUA	QUI	SEX	SÁB
ESP（スペイン語）	DOM	LUN	MAR	MIÉ	JUE	VIE	SÁB
FRA（フランス語）	DIM	LUN	MAR	MER	JEU	VEN	SAM
NED（オランダ語）	ZOM	MAA	DIN	WOE	DON	VRI	ZAT
DAN（デンマーク語）	SØN	MAN	TIR	ONS	TOR	FRE	LØR
DEU（ドイツ語）	SON	MON	DIE	MIT	DON	FRE	SAM
ITA（イタリア語）	DOM	LUN	MAR	MER	GIO	VEN	SAB
SVE（スウェーデン語）	SÖN	MÅN	TIS	ONS	TOR	FRE	LÖR
POL（ポーランド語）	NIE	PON	WTO	ŚRO	CZW	PIĄ	SOB
ROM（ルーマニア語）	DUN	LUN	MAR	MIE	JOI	VIN	SÂM
TÜR（トルコ語）	PAZ	PZT	SAL	ÇAR	PER	CUM	CTS
РУС（ロシア語）	ВС	ПН	ВТ	СР	ЧТ	ПТ	СВ

■文字リスト

本機のデータバンクは、設定した言語で名前部に文字を入力することができます（13カ国語対応）。入力できる文字は以下の通りです。

ENG （英語）	（空白）ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ@!?’.:/+−0123456789
POR （ポルトガル語）	（空白）AÁÀÂÃBCÇDEÉÊFGHIÍJKLMNOÓÔÕPQRSTUÚVWXYZ@!?’.:/+−0123456789
ESP （スペイン語）	（空白）AÁBCDEÉFGHIÍJKLMNÑOÓPQRSTUÚÜVWXYZ@!?’.:/+−0123456789
FRA （フランス語）	（空白）AÀÂBCÇDEÉÈÊËFGHIÎÏJKLMNOÔŒPQRSTUÙÛÜVWXYZ@!?’.:/+−0123456789
NED （オランダ語）	（空白）ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ@!?’.:/+−0123456789
DAN （デンマーク語）	（空白）ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZÆØÅ@!?’.:/+−0123456789
DEU （ドイツ語）	（空白）AÄBCDEFGHIJKLMNOÖPQRSTUÜVWXYZ@!?’.:/+−0123456789

ITA (イタリア語)	(空白) AÀBCDEÉÈFGHIÌÍJKLMNOÓÒPQRSTUÙV WXYZ@!?’.:/+−0123456789
SVE (スウェーデン語)	(空白) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZÅÄÖ@ !?’.:/+−0123456789
POL (ポーランド語)	(空白) AĄBCĆDEĘFGHIJKLŁMNŃOÓPQRSŚTUVW XYZŹŻ@!?’.:/+−0123456789
ROM (ルーマニア語)	(空白) AĂÂBCDEFGHIÎJKLMNOPQRSŞTŢUVWXY Z@!?’.:/+−0123456789
TÜR (トルコ語)	(空白) ABCÇDEFGĞHIİJKLMNOÖPQRSŞTUÜVWX YZ@!?’.:/+−0123456789
РУС (ロシア語)	(空白) АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬ ЭЮЯ@!?’.:/+−0123456789

■自動ソートの順番

データバンクモードでは、データを入力すると名前順に並び替わります。自動ソートの順番は以下の通りです。

1	(空白)	15	Ë	29	Ï	43	Ö	57	Ø	71	Ę	85	Ǫ	99	Ь	113	1
2	Ą	16	É	30	İ	44	Ő	58	Ü	72	Ḃ	86	П	100	Э	114	2
3	Á	17	Ȅ	31	J	45	Œ	59	V	73	Т	87	Р	101	Ю	115	3
4	À	18	Ê	32	K	46	Þ	60	Ẅ	74	Д	88	С	102	Я	116	4
5	Ă	19	Ë	33	L	47	Q	61	X	75	Е	89	Т	103	а	117	5
6	Ą	20	Ę	34	Ł	48	R	62	Y	76	Ё	90	У	104	!	118	6
7	Ä	21	F	35	M	49	S	63	Z	77	Ж	91	Ф	105	?	119	7
8	Ą	22	G	36	N	50	Ś	64	Ź	78	З	92	Х	106	’	120	8
9	Ą	23	Ğ	37	Ń	51	Ş	65	Ż	79	И	93	Ц	107	.	121	9
10	B	24	H	38	Ň	52	T	66	Æ	80	Й	94	Ч	108	:		
11	C	25	I	39	O	53	Ţ	67	Ø	81	К	95	Ш	109	⁄		
12	Ç	26	İ	40	Ó	54	U	68	Å	82	Л	96	Щ	110	+		
13	Ć	27	Ì	41	Ò	55	Ú	69	Ä	83	М	97	Ъ	111	−		
14	D	28	Ī	42	Ô	56	Ů	70	Ö	84	Н	98	Ы	112	0		

- 7番の「Ą」はドイツ語で、69番の「Ä」はスウェーデン語です。
- 43番の「Ö」はドイツ語とトルコ語で、70番の「Ö」はスウェーデン語です。
- 71番から102番の文字はロシア語です。

製品仕様

精　　度：平均月差±30秒以内

基　本　機　能：時・分・秒
午前（A）／午後（P）／24時間制表示
年・月・日・曜日
フルオートカレンダー（2000～2039年）
サマータイム設定機能

データバンク機能：名前（8文字）と電話番号（15桁）を
最大30件記憶
自動ソート、13カ国語対応

アラーム機能：時刻アラーム
本数＝5本
セット単位＝月・日・時・分
電子音＝10秒間
通常アラーム／スヌーズアラーム
（合計7回）
＊スヌーズアラームはアラーム1のみ切り替え可能。

時報　毎正時に2回電子音で報知

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測

タイマー機能：セット単位＝1分
計測単位＝1秒
計測範囲＝24時間
タイムアップを10秒間の電子音で報知

デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
セット単位＝時・分
サマータイム設定機能

そ　の　他：自動復帰機能、
12/24時間制表示切替え、
LEDライト、モニターアラーム、
言語設定機能（13カ国語対応）

使用電池：CR1616　1個（電池別途販売）

電池寿命：約3年
（1日あたりライト1.5秒間、電子音10秒間使用した場合）
- ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。


memo

ご使用上の注意

■ 防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

● 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

● バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。 汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

■ データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

